

今週の

# いきもの広場

## ① ナミテントウ



成虫の姿で、樹皮や落ち葉の下にもぐり冬を越します。背中上の斑点は、個体によって様々なバリエーションがあります。

## ② トホシテントウの幼虫



①のフタホシテントウとは異なり、トホシテントウは幼虫の姿で冬を越します。この後さなぎになり、初夏には成虫になります。

## ③ タチツボスミレ



公園などでよく見かけるスミレで、ハート型の葉が特徴です。広場全体に少しずつ咲いています。

## ④ カブトムシの幼虫



幼虫は夏の終わりから秋にかけて腐葉土を食べて、子供の手のひらほどの大きさがある「3 齢幼虫」に成長し、冬を越します。

## 土を耕しました

3月まで、たくさんの人に入ってもらった広場の土は想像以上に踏み固まっています。4月からも広場にたくさんのいきものが見られるよう、3月の終わりに土を耕し、人が立ち入らない場所を作っています。



いきもの広場は、動物園の中に作った「近所の自然」です。広場のなかには様々な環境や生き物と出会うための小さな仕掛けがたくさんあります。広場でも春の花があちこちに見られるようになりました。陽気にさそわれたらしく、冬に眠っていたいきものたちも、活動をはじめています。



## ⑥ アズマヒキガエルのオタマジャクシ



2月に池の中に産み落とされた卵が、3月下旬頃、一斉に孵りました。5月には手足が生えそろう、上陸すると思われます。

## ⑤ ヒガシニホントカゲ



冬の間落ち葉の下や土の中にもぐり、じっとしていたトカゲも、あたたかくなる屋の間、少しずつ活動を始めているようです。(写真の観察ボードの下で発見)